

愛媛大学

【N070 愛媛大学】

|                   |  |
|-------------------|--|
|                   | 愛媛大学 理学分野  |
| 学部等の教育研究<br>組織の名称 | 理学部（第1年次:225）<br>大学院理工学研究科（M:240 D:23）<br>地球深部ダイナミクス研究センター   |
| 沿 革               | 大正8（1919）年 松山高等学校創立<br>昭和24（1949）年 新制愛媛大学文理学部設置<br>昭和43（1968）年 理学部設置（文理改組）<br>昭和53（1978）年 大学院理学研究科修士課程設置<br>平成8（1996）年 大学院工学研究科を改称し理工学研究科設置<br>平成13（2001）年 地球深部ダイナミクス研究センター設置<br>平成25（2013）年 地球深部ダイナミクス研究センターが共同利用・共同研究拠点に認定   |
| 設置目的等             | <p>愛媛大学理学部・大学院理工学研究科（理学系）の母体である愛媛大学文理学部は、松山高等学校を前身とし、幅広い教養を授け、社会科学、人文科学、自然科学を研究し、地域や我が国の発展に寄与する人材の育成を目指して、昭和24年の学制改革により設置された。昭和43年に文理改組が行われ、理系基礎科学の教育を担い自然の真理をより深く探究するために理学部が設置された。昭和53年には、専門分野の研究を更に推進し、地域産業の振興に資するために大学院理工学研究科（修士課程）が設置された。</p> <p>平成8年には教養部廃止に伴い教育研究組織を再編強化し、教育の活性化、効率化、高度化を図ることによって学際的研究の推進と独創性豊かな人材を育成するために5学科小講座制を廃し、3学科大講座制とした。これとともに、大学院では先行設置の工学研究科（博士前期・後期課程）及び理学研究科（修士課程）を再編成することで理工学研究科が設置された。</p> <p>研究の国際的な広がりや専門性の深化への対応及び地域への成果の還元を目指して、平成11年には沿岸環境科学研究センター、平成13年には地球深部ダイナミクス研究センターが設置され、これと同時に学際分野教育の拡充を目指して八つの履修コースが設置された。平成17年には、この履修コースと高等学校の自然科学科目との関連を明らかにするために5学科に再々編され、多様な学生を受け入れるための受験コース制入試も導入された。</p> <p>平成19年には、宇宙物理学研究の進展のために宇宙進化研究セン</p> |

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     | <p>ターが設置され、平成20年には宇宙物理学履修コースが追加された。</p>  |
| <p>強みや特色、社会的な役割</p> | <p>理学分野においては、知的好奇心に基づき自然科学における未知を探究してその成果を地域社会及び国際社会の発展に生かすとともに、次代の自然科学を担う人材の育成に取り組んできたところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間性、社会性及び国際性に裏打ちされた専門的科学知識を学び、自然科学の諸問題解決の過程を経験することにより、基礎力と応用力を身に付けた高度な専門人材の育成の役割を果たし、先端的な研究センターと協働して、高度な研究能力を有する先導的な人材育成の役割を果たすとともに、愛媛県を中心とした周辺地域の理学教育の機会均等に寄与する。</li> <li>○ 学際分野を含む10の履修コースの編成及び自然科学基幹5学科への再編などの教育組織改革と並行して、学問分野体系に沿ったカリキュラム整備、成績評価のフィードバックによる授業改善とカリキュラム再設計、さらには、学生の基礎学力向上のためのE-Learningなどの自律的学習の推進及び実験や実習などの経験的学習の拡充など特徴ある教育改革を進めてきた実績を生かし、理学的思考力に基づいて課題を解決できる人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。</li> <li>○ 先端的な研究センターで展開されてきた環境科学や地球深部物質学分野における世界トップを目指す研究、タンパク質科学や宇宙物理学などの特徴ある研究と連携して、理学研究を推進するとともに、地域社会の発展や科学技術の発展に寄与する。</li> <li>○ 先進超高压科学研究拠点では、世界最高硬度物質ヒメダイヤの合成に代表される超高压実験や放射光実験と、第一原理計算を中心とする数値計算分野の協同により、地球深部の物質科学・構造・ダイナミクスに関する研究において世界トップレベルの実績を上げてきたことを踏まえ、地球惑星の起源と進化を探索する先端的研究の一層の推進を図るとともに、地球惑星科学及び関連他分野との学際的共同研究を総合的に推進する。</li> <li>○ 企業における研究の応用展開などを通じた産業界の高度化・活性化への支援、愛媛県をはじめとする周辺地域の教育機関が行う理数系教育への支援、地域住民向け公開講演会などの基礎科学啓発活</li> </ul> |

動、生態や地質に関する調査研究活動など、地域社会に貢献してきたこれまでの実績を生かし、学術の進展や地域の学術的啓発活動の推進に寄与する。

- 教員免許状更新講習の実施など、愛媛県の教育界に協力してきたこれまでの実績を生かし、中等教育教員へ最新の自然科学知識及び技術を教授し、地域の教育界に寄与する。
- 国内外の研究機関と地球環境問題解決のためのコンソーシアム形成を推進し、基礎科学的立場から問題解決に貢献する。